

登 山

専門委員長 山 田 修



1. 県高校総体

県高校総体は、相栗峠～竜王山～三頭山～山人の里のコースを採用し、6月5日から6月7日までの3日間の日程で行われました。このコースは、来年度行われる四国

全国総体のコースを一部採用しました。男子7校、女子3校の参加で、四国大会及びインターハイの出場権を懸けて開始されました。

1日目は旧重清北小学校の簡易宿泊施設「山人の里」に集合し、諸会議と開会式の後、テント設営、知識、天気図、炊事などについての審査を実施しました。天候にも恵まれ、予定通りの日程を消化することができました。ただ、昨年度の新人大会同様、新型コロナウイルス感染防止のために、テントは収容人数の半分以下で制限し、その分、テントの数を増やし、距離をとっての就寝となるようにしました。

2日目は4時に起床し、バスで相栗峠へ移動後、登山行動が開始されました。この大会が行われる前は感染拡大を防ぐため部活動練習時間が制限されていました。そのため、十分な練習ができないチームがあり、全国大会で使用するロングコースと相まって厳しい山行となりました。このような状況の中でも選手達は粘り強く行動し、ほとんどがゴールである山人の里まで怪我なく下山できました。ロングコースを歩き終え選手・監督とも安堵の表情を浮かべていました。いつもの大会と比べると簡素な夕食を食べ、リーダー会議後、明日の行動に備え就寝しました。

最終日は山人の里から行動を開始し、二双越までの往復行動でした。このコースは緩やかで大きなピークもなく、さらに天気にも恵まれ、余裕のある山行となりました。

大会がすべて終了し、山人の里で閉会式、表彰式が行

われました。結果は男子は池田高校が5年ぶり17回目の優勝、女子も池田高校が2年連続（昨年度の中止を挟む）16回目の優勝でした。四国大会には男子が池田・城ノ内・つるぎ、女子が池田・脇町の計5パーティーが出場となりました。

2. 四国高校選手権

6月18日から20日まで、第63回四国高等学校登山選手権大会が香川県で開催されました。

1日目はつるや旅館に集合し、諸会議と開会式、知識審査を実施しました。本来ならこの後、設営、炊事審査がありますが、感染予防対策でテント泊はなくし、旅館での宿泊のため、それらの審査は割愛されました。

2日目は5時に起床、バスで琴南公民館に移動し、8時に行動開始しました。コースは来年度行われる四国全国総体コースのひとつ笠形山コースです。このコースは急登もあるロングコースのうえ、天候も小雨降る悪状況でしたが、大きなトラブルもなく山行を終えることができました。

大会3日目も来年度使用するコースのひとつ大川山コースで、四国大会の3日目のコースとしては長く厳しいコースでした。昨日とは打って変わって晴れで、選手達は暑さとの戦いも強いられることになりました。多少終了時間は遅くなりましたが、ほとんどのチームが完歩し、コロナ禍の四国大会は無事終えることができました。

結果は、男子は多度津高校が、女子は善通寺第一高校が見事優勝を果たしました。徳島県勢は、男子池田が6位、城ノ内が7位、つるぎが10位で、女子池田が3位、脇町が6位でした。

3. インターハイ

インターハイは8月20日から8月23日まで福井県勝山市の三頭山、取立山山域で開催されました。三頭山（777.5m）、大師山（550.3m）、取立山（1307.2m）、こつぶり山（1264m）が大会コースになりました。予定で

は、経ヶ岳山域を中日に据えた5日間の大会でしたが、新型コロナウイルス感染防止のために1日縮小し、炊事、テント泊のない大会となりました。しかし、福井県の役員の方々の御尽力の賜物で、最後まで大きなトラブルもなく大会を終えることができました。

成績はA隊（男子）池田高校が33位となり、前回のつるぎ高校の28位より順位を少し下げてしまいました。B隊（女子）池田高校は15位と前回の20位よりおおきく順位をあげました。今回の反省を生かして、来年度は上位に食い込めるよう徳島県がOneTeamとなって向上していきたいと思います。

4. 県高校選手権

夏も終わり3年生が引退し、新メンバーで臨む登山選手権大会が、つるぎ高校を幕営地として9月25日より2日間行われました。

この大会は、高校登山競技の基本を学ぶための研修も兼ねている大会でしたが、今回も密を避けるために研修は行わず、審査のみとしました。知識審査は、全員を一室に入れると密集状態になるため、2グループに分けて、入れ替え制で実施しました。

2日目は、4時起床後、バスで見ノ越駐車場に移動し、剣山山域での山行で、読図、装備、行動記録、マナーの審査を行いました。選手権大会ではあまり行わない長距離バス輸送でしたが、剣山山域を歩かずに今年を終える選手がかわいそうという意見を尊重しました。結果は男子はつるぎ高校が4年連続7回目の優勝、女子は池田高校が2年ぶり9回目の優勝となりました。

5. 県高校新人登山

新人大会は11月20日より2日間、小松島西高校勝浦校を幕営地として、中津峰山コースで行われました。このときはコロナ禍はだいぶ落ち着いており、1日目の設営審査、炊事審査は予定通り行えました。ただ、油断することなく、テントは収容人数の半分以下で制限し、距離をとっての就寝となるようにしました。2日目の行動

は、前年度の新人大会に引き続き、制限時間は厳しく設定したためか、多くのチームが目標時間内に登頂することができませんでした。しかし、しっかりと体力をつけてきたチームはクリアしました。結果は男子は城ノ内高校が2年連続9回目の優勝、女子は池田高校が3年ぶり7回目の優勝となりました。

今年度も、校務でお忙しい中、大会運営に携わり参加してくださいました各校の顧問の先生方、御協力ありがとうございました。各校とも部員獲得で苦労されている中、おかげさまで、多くの選手に恵まれ、活気のある大会を開催することができました。

最後になりましたが、会場として施設を使わせていただいた山人の里、つるぎ高校、小松島高校勝浦校にお礼申し上げます。

◎県高校総体 令 3. 6. 5～7

於 美馬市 竜王山・三頭山コース

<男子団体>

1位	池田	98.1点
2位	城ノ内	98.0点
3位	つるぎ	94.5点

<女子団体>

1位	池田	89.3点
2位	脇町	65.7点

◎四国高校選手権 令 3. 6. 18～20

於 まんのう町 笠形山、大川山コース

<男子団体>

6位	池田	93.4点
7位	城ノ内	92.0点
10位	つるぎ	74.8点

<女子団体>

3位	池田	93.7点
6位	脇町	83.2点

◎インターハイ 令 3. 8. 20～23

於 福井県勝山市 三頭山、取立山山域

団体男子 (A隊)	池田	91.3点	33位
山下颯太・金山有之介・和田恵夢・鵜飼創太郎			

団体女子 (B隊)	池田	96.9点	15位
矢石心華・郷田聖奈・佐伯美桜・大西ヒカル			

◎県高校選手権 令 3. 9. 25～26

於 三好市東祖谷 剣山山城

<男子団体>

- 1位 つるぎ
- 2位 城ノ内
- 3位 池田

<女子団体>

- 1位 池田

<男子個人>

- 1位 川人 海晟(つるぎ)
- 2位 弘田 貴也(城ノ内)
- 2位 金島 優絆(つるぎ)
- 4位 市原 峻英(つるぎ)
- 5位 三宅 一步(つるぎ)

<女子個人>

- 1位 郷田 聖奈(池田)
- 2位 喜多 輝(脇町)
- 3位 大西ヒカル(池田)
- 4位 山口 佳乃(池田)
- 5位 佐藤 沙羅(脇町)



三頭山山頂 池田高校女子 (県高校総体)

◎県高校新人大会 令 3. 11. 20～21

於 勝浦郡勝浦町 中津峰山

<男子団体>

- 1位 城ノ内 97.4点
- 2位 つるぎ 96.9点
- 3位 池田 96.7点

<女子団体>

- 1位 池田 98.1点



集合写真 つるぎ高校男子 (県高校登山選手権)



登山行動の様子 池田高校男子 (県高校総体)



登山行動の様子 男子 (県高校新人登山)